

# 丹波篠山市教育大綱

適用期間：令和5～8年度



理念

—しあわせ多き

ふるさと丹波篠山を担う—

重点8項目

この大綱は、丹波篠山市が取り組む教育施策の基本方針を示したものです。  
重点施策として、以下の8項目を掲げます。

1. ふるさと教育
2. 子ども・子育て支援の充実
3. 地域とともにある学校
4. 学力の確立と向上
5. 学校部活動の充実
6. スポーツに親しむ
7. 丹波篠山ならではの文化を育む
8. あいさつの励行

令和5年12月12日

丹波篠山市

## 1. ふるさと教育

### (1) 丹波篠山は魅力あふれるまち……日本遺産のまち、農の都

ふるさとを大切にする教育、ふるさとを誇りに思い、自らが主体的にふるさとを担うことの大切さを実感できる教育が必要です。

丹波篠山市は都市から1時間の近郊にありながら、日本の原風景と言われる農村景観が残り、農の都、美しいまちなみ、豊かな自然や文化など、たくさんの魅力があり、あたたかい人と人とのつながりを大切にするまちです。

このような全国に誇り得る丹波篠山の魅力を学ぶ機会をつくり、丹波篠山が大好きだ、丹波篠山で住みたい、という気持ちを育てます。

また、地域のお祭りなど行事への参加と人々とのふれあい、市内の良いところめぐり、農業体験、丹波篠山の食をいかした学校給食、自然とのふれあいなどを通じ、ふるさとを愛する心を育みます。

### (2) 丹波篠山の食をいかす……学校給食日本一

丹波篠山市には、黒大豆や山の芋、お茶、お米、牛肉、旬の野菜など、豊かな風土に培われた素晴らしい食材が数多くあり、学校給食では地元食材を積極的に献立に取り入れています。

また、生き物や自然環境にやさしい栽培方法で作られた「農都のめぐみ米」やオーガニックビレッジ宣言をした地元産の有機栽培野菜の活用を通して、子どもたちに地元農業や食材、自然環境への関心や生産者への感謝の気持ち等を育成する食育を推進します。

### (3) 自然とふれあう教育……学校にヒーローをつくろう

丹波篠山市は、山、川、田などの自然環境が豊かで、多様な生物が息づいています。昔に比べるとそれらの自然は失われつつあるものの、一定の自然や生物多様性が守られた環境にあるとも言えます。

魚採り、虫採りといった自然と触れあうことは、都市にはない丹波篠山市ならではの貴重な体験です。この自然体験を促すため、学校ごとに、オオムラサキ、オオサンショウウオ、モリアオガエル、オヤニラミ、サギソウなど、地域の特色ある動物や植物をヒーローとしています。自然に触れながら学び、育てることで、命の大切さ、思いやりの心、自己肯定感や道徳観など、将来を豊かに生きるための力を育成し、ふるさとへの愛着を育みます。

また、幼児期のどんぐり拾い、丹波篠山産材を使った施設や玩具などに触れる環境づくりを進め、学校教育の中で、子どもたちが「木の香りやぬくもり」を身近に実感できる「木育」を推進します。

## 2. 子ども・子育て支援の充実

### (1) 子育ていちばん、子育て応援のまち……魅力あふれる子育てのまち

こどもは将来の丹波篠山市を担うかけがえのない存在であり、丹波篠山市の宝物です。

丹波篠山市では「子育ていちばん条例」を制定し、全国初の妊娠期から産後まで一人一人に寄り添ってきめ細やかにサポートするMy助産師、待機児童ゼロの児童クラブなど、全国の自治体に負けない先進的な施策に取り組んでいます。

今後も、子育て世代を支援するため、情報発信を充実させるとともに様々な施設や機会を通じて、保護者同士や地域等が「つながる」場を提供する等の取り組みをさらに進め、行政・市民・事業者がともに子育て支援・子育て応援の機運を醸成し、「日本でいちばん魅力あふれる子育てのまち丹波篠山」をめざして取り組みます。

## (2) 人としての土台・基礎を築く幼児教育……丹波篠山だから ぐんぐん のびる

丹波篠山市の名誉市民であった故河合雅雄さんは、著書「少年動物誌」で「文明が進めば進むほど人間の心が荒らされていく。これを乗り越えるには、自然を大切にし、子どものときに自然を楽しむ習慣をつけることだと思います」と訴えられています。

丹波篠山市には、豊かな自然のリズムに合わせ、朝日とともに目覚め、たのしく食べて、たっぷり遊んで、ぐっすり眠るといった基本的な生活習慣を身につけるには抜群の環境が整っています。

これからも、人としての確かな土台・基礎を築く幼児教育「ふた葉プロジェクト」に力を入れていきます。

## (3) 就学前の保育・教育環境の整備……より円滑な保育・教育の展開

老朽化している市立の保育・教育施設は、財政状況を考慮し、地域の実情や地域の住民の要望を聞きながら、順次、より円滑な保育・教育が展開できる整備を進めていきます。

また、私立こども園と施設訪問や職員研修などを共同開催し、日ごろから連携を密にし、公私立の保育・教育施設のあり方を検討していきます。

# 3. 地域とともにある学校

## (1) コミュニティ・スクール……市民みんなが学校づくり

丹波篠山市では、新しい学校づくりに向け、「コミュニティ・スクール」の充実に取り組んでいます。「地域とともにある学校づくり」「学校は地域みんなのもの」という意識を持ち、教員だけでなく、市民、保護者、地域住民が一体となって学校運営に参画しています。また、コミュニティ・スクールをすべての幼稚園・こども園にも導入していきます。

## (2) 高齢者とともに学ぶ……おじいちゃん・おばあちゃんも学校へ

丹波篠山市でも、3世代同居の家庭が少なくなり、家の中で、おじいちゃん・おばあちゃんに関わる機会は減少しています。学校を新たな生涯学習の場とし、高齢者の持つ知恵や技術や仕事経験などを活かし高齢者大学を学校で行うことや、子どもたち（小学生など）と高齢者が同じ校舎で学ぶ交流事業の開催など、子どもたちの多様な価値観を育み学習意欲をさらに高めます。

# 4. 学力の確立と向上

## (1) 読み、書き、計算、自己表現……誰一人取り残さない

子どもたちが豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となることができるよう、確かな学力を高めます。「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な学力とともに、思考力や判断力、協調性等を育成します。その上で、“自己表現”する力を育み、自分の考えを伝え、人とつながる中で学びを深める学級づくり・授業づくりに引き続き取り組みます。

## (2) 市内高等学校との連携……丹波篠山で共に学ぶ

丹波篠山市には、地域に根差した特色のある県立高等学校があります。同じ地域で育った者が共に学び、切磋琢磨して友情を育み、成長してから共にまちづくりに励むことは、とても大切なことです。子どもたちの将来を考え、地域の良さを活かすためには、市内に魅力ある高等学校があることは重要です。

幼少期を含め小学校、中学校と高等学校との連携を通じ、生徒一人一人の個性を伸ばし、生きる力を育む教育の実現に取り組みます。

## 5. 学校部活動の充実

学校の部活動は学校教育活動の一環として学習指導要領に位置付けられ、目標に向けて仲間と協力し課題を克服して達成感を得ること、生徒達の心と体の健全な育成を図ること、また、学校生活の楽しさや充実につながることなど、教育的な価値が高く大変意義深いものです。

このかけがえのない部活動の充実を図るとともに、でき得る限り、部活動指導員を活用したり、複数校での合同部活動を進めたりするなど、生徒が希望する部活動の機会が損なわれないよう配慮します。併せて、部活動に携わる教員の負担軽減を図るとともに、休日の部活動は地域人材が担えるよう取り組みを進めます。

## 6. スポーツに親しむ

市民誰もがスポーツを通じて、健康な体と心を育むことをめざします。

長澤宏行スポーツ振興官を中心に、野球、ソフトボールをはじめとしたスポーツ全般の振興を通じて、幸せで活力あるまちをめざします。

また、丹波篠山市は、丹波篠山 ABC マラソン、兵庫県高校駅伝、ホッケー競技などの舞台となっており、市民挙げて支援し盛り上げます。

## 7. 丹波篠山ならではの文化を育む

### (1) 歴史文化の継承

丹波篠山市には、地域それぞれに受け継がれてきた特色ある歴史や文化があります。お苗菊や春日能をはじめ史跡や地域の祭礼などを活かし、豊かな歴史文化を守り伝えます。

### (2) 新たな文化の創造

市展や市民ミュージカルなど、市民が行う芸術・文化活動を支援し新たな文化を創造することで、丹波篠山の魅力を高め丹波篠山が誇る文化力の向上に取り組みます。

## 8. あいさつの励行

丹波篠山市では、人権意識やコミュニケーションを高めるため、市民全体でのあいさつ運動に取り組んでいます。地域や学校での「おはよう」「こんにちは」などの飛び交う元気な声が、子どもたちのあたたかい心や郷土愛を育てています。この取り組みを継続することで、市民意識の向上とまちの活性化につなげます。

---

### 丹波篠山市教育大綱

発行 丹波篠山市

問い合わせ 丹波篠山市教育委員会事務局教育総務課 TEL 079-552-5709

---